

はまなす

〒098-1601 興部町字興部元町 電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672
年間主題 「 愛し合う元気な仲間（ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう） 」

2月聖句

『愛する人たち、互いに愛し合いなさい。』

(ヨハネの手紙①4章7節)

【巻頭言】 子どもの頃の雪遊びで、雪の怖さを学びました。

園長 小山哲夫

温暖化の影響でしょうか？ 西高東低の冬型気圧にならず、特にオホーツク（紋別地方）は1月になっても雪が積もらず、スキー場もオープンできませんでした。我が家の庭も土が見える場所もあり、春一番のクロッカスの球根は土の中で震えているだろうなあ、と、異常気象を心配していました。しかし、やっと、1月末近くになって20～30cm積もって、興部らしい冬景色になりました。でも、今年の流氷到来はどうでしょうか？ 2月中旬に紋別の「流氷祭り」がありますが、流氷の無い祭りになりそうで気になります。



冬休みが終わって、子ども達はインフルエンザ他の罹患等の欠席も少なく元気に登園してきました。しかし、ここきて、胃腸炎・風邪症状で休む子が増えてしまいました。せっかく雪が積もって北海道の子どもらしい雪遊びを楽しむことができるようになりました。ぜひ、体調管理をしっかりしてげんきな「どさんこ」になってほしいと思います。



雪が積もる前、子ども達は少ない雪をかき集めて雪だるまを作ったり、除雪の雪山（1m弱）に穴を掘っていました。「やっぱり、子どもは穴を掘りたくなるんだ」と、自分の子どもの頃を思い出しました。

私が子どもだった昭和30年代初期、まだスキーは高級品だったので、ほとんどの子ども達は写真のような木ソリや竹スキー（竹の先を曲げた約30cmの物）で遊んでました。竹スキーは長靴で乗って滑る（固定しない）ので結構難しく、高学年の遊びでした。その為、幼児は木ソリやシヨベルや十能（スコップは遊んで置き忘れるので禁止されました）を使った穴掘り遊びが定番でした。



子どもの頃住んでいた札幌はベタ雪が多いので、除雪でできた雪山は結構固まります。その雪山に穴を掘って「かまくら」を作ったり、別の「かまくら」と繋ぐトンネルなどで、雪と汗でシャツもパンツもビチヨビチヨになりながら遊んでました。

高学年になると、近所の仲間が集まってトンネル迷路・秘密基地遊びになり、行き止まりや迷い道も作って他のグループと競い合いました。子どもがぎりぎり通れる迷路は写真の様に真っ暗で、家からこっそり持ち出した懐中電灯で中を照らしながら遊びました。始めて入る迷路は、何人も繋がって入る先頭に行くと、後戻りできなくなり、狭くて真っ暗なトンネルの中で息苦しく、半泣きになりながら必死に前進したことを思い出します。「雪の中は息ができない、埋まると動けない」事をこの遊びで学びました。しかし、しばらくして、町内会でこの遊びが危険な遊びとして問題になったようで、残念ですが禁止されてしまいました。



最近、ほとんどの子どもが雪に埋もれる経験が無い為か、本当の「雪の怖さ」を知りません。幼稚園・はこぶねの雪遊びを見ていると、写真のような雪穴に友達が入っていても、平気で上で飛び跳ねています。「崩れたら危ないよ」と注意しても、意味が分からないのか直ぐに遊び始めます（危なく感じる場合は穴を埋めてます）。雪道の安全指導・安全なソリ遊び・軒下に近づかない等の冬の安全指導はしていますが、上記のような雪の怖さの指導は少なくなっています。

小学生の頃、ふざけて木に登り、枝が折れて落ちたこともあります。芝生に落ちたのでケガはありませんでしたが、しばらく息ができませんでした。そんな失敗や雪遊び経験から、安全な生活の知恵が身について、今の自分の安全バロメーターになっていると思います。

子どもにとって、遊びは大切な「学び」の場です。特に友達と遊ぶことで、自発性や協調性・思いやる心、想像力・創造力が育ち、ルールや決まりを守る大切さが育ちます。そして、小さな失敗体験こそが、「人間として生きる力」になると思います。子ども達の自主性・小さな失敗体験を見守り、「どさんこ」らしい冬遊びを体験してほしいと思います。



2月 行事予定

1日(土) 土曜休園 P T A親子雪遊び交流会(園庭)	11日(火) 祝日
3日(月) 豆まき遊び体験・交流保育 あそびんこクラブ	13日(木) カール先生と英語で遊ぼう
4日(火) 身体測定(年中・年長) 手足型取り(全クラス~10日)	15日(土) 土曜休園
5日(水) 身体測定(年少)	17日(月) あそびんこクラブ
6日(木) 避難・通報訓練	21日(金) 2月お誕生会(ミートソーススパゲッティ)
7日(金) 新入園児体験入園、沙留小:一日入学	22日(土) 土曜休園
8日(土) 土曜休園	23日(日) 祝日
	24日(月) 振替休日
	28日(金) 園児お別れパーティー 月末統計

<お知らせ>

1、2月お誕生会について 2月21日(金) ミートソーススパゲッティ

教師が調理した「ミートソーススパゲッティ」を食べます。主食は必要ありません。デザート等を持たせて下さい。アレルギー等で食べられない場合は、事前に担任に連絡をしてください。



2、園児お別れパーティーについて 2月28日(金)

園児と教師でお別れパーティーを行ないます。卒園する年長児のために、在園児と教師が1年間の感謝とお祝いの気持ちを込めて、準備をします。詳細は週案をご確認ください。



3、胃腸炎・発熱を伴う風邪症状が増えています。ご注意ください。

1月末から、胃腸炎症状、風邪症状で休む園児が増えています。例年、同時期に胃腸炎・ノロウィルス・インフルエンザ等の流行が見られますので、園児の健康管理に十分ご注意ください。特に、体調が良くない場合は、無理に登園させないようにご配慮下さい。

4、2025年5月から満3歳児(つくし組)の入園を受け入れます。

2024年度は、教師確保できなかった為、満3歳児(つくし)園児受け入れを停止していましたが、2025年度(新年度)から入園受入を再開します。原則的に満3歳になった翌月から入園を受け付けます。満3歳児入園をご希望の方は、早めに幼稚園にご連絡下さい。よろしくお願いします。

5、クリオネ 大募集中!

昨年も、在園児の父母の方のご協力で、「クリオネ」を飼育・観察できました。オホーツクの自然の豊かさを伝える為にしたいと思います。今年も捕獲可能な方は是非お願いします。



6、豆まき ピーナッツアレルギーに配慮して「大豆」を蒔きます。幼稚園では食べません

今月の豆まきも、消費者庁から「窒息や誤嚥を防ぐため5歳以下の子どもに節分の豆やナッツ類を食べさせない」という注意喚起に従い、ピーナッツアレルギーにも配慮して「大豆」で豆まきをします。

また、窒息・誤飲を防ぐため、「豆まき」をした後は幼稚園で「大豆」は食べず、市販の小袋「煎り大豆」を持たせます。各ご家庭で、窒息・誤飲に注意して食べてください。



幼稚園での飲食では、アレルギー症状が出ないように配慮していますが、園児にアレルギー症状が出た場合は、軽い症状でも、必ず、正確に、担任にお知らせ下さい。よろしくお願いいたします。

以上